

焼岳の地殻変動*

Crustal Deformations of Yakedake Volcano

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、焼岳周辺のGNSS連続観測結果である。

第1図上段に基線の配置を示した。

第1図下段は、第1図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、左列は最近約5年間(2013年1月～2017年12月)の時系列、右列は最近約1年間(2016年12月～2017年12月)の時系列である。GNSS連続観測結果では特段の変化は見られない。

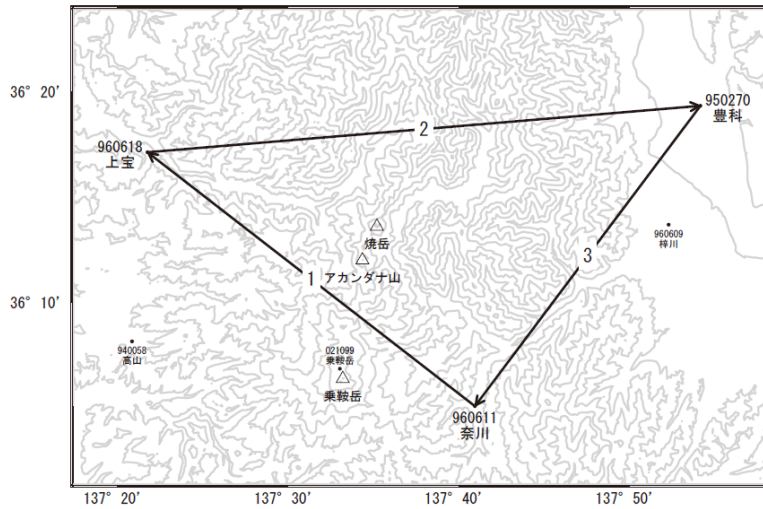
第2図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

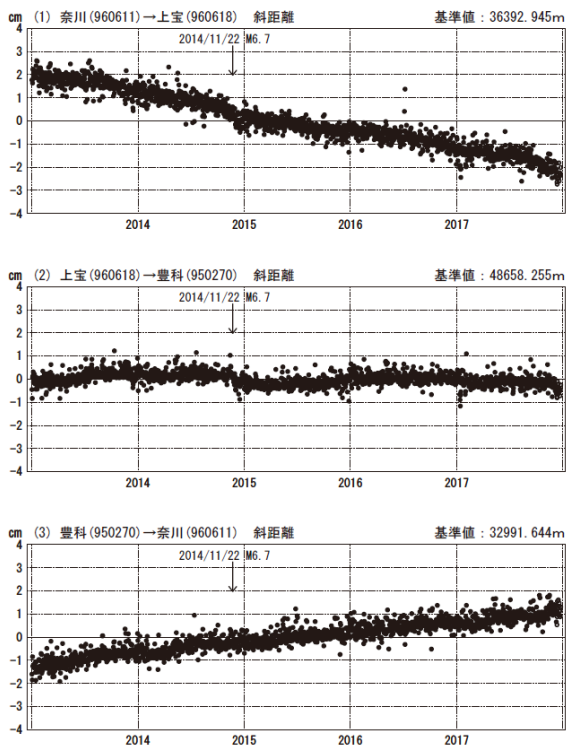
* 2018年3月14日受付

焼岳・アカンダナ山周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図



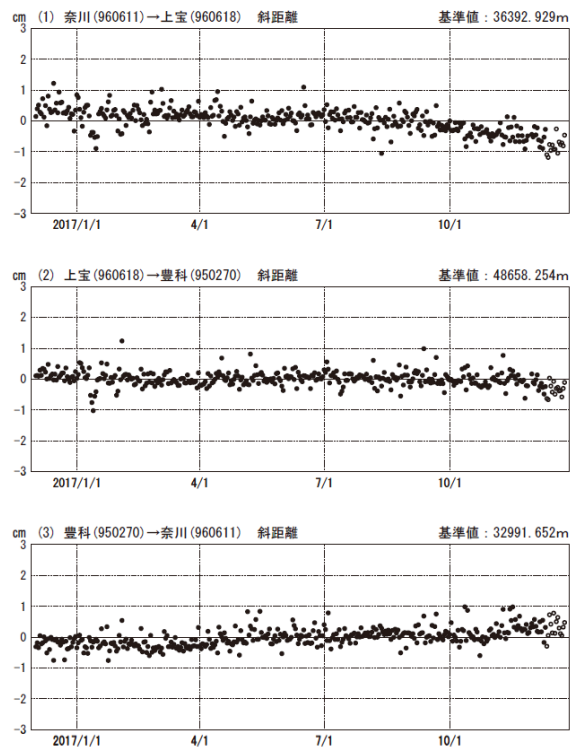
基線変化グラフ

期間: 2013/01/01~2017/12/23 JST



基線変化グラフ

期間: 2016/12/01~2017/12/23 JST



●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

国土地理院

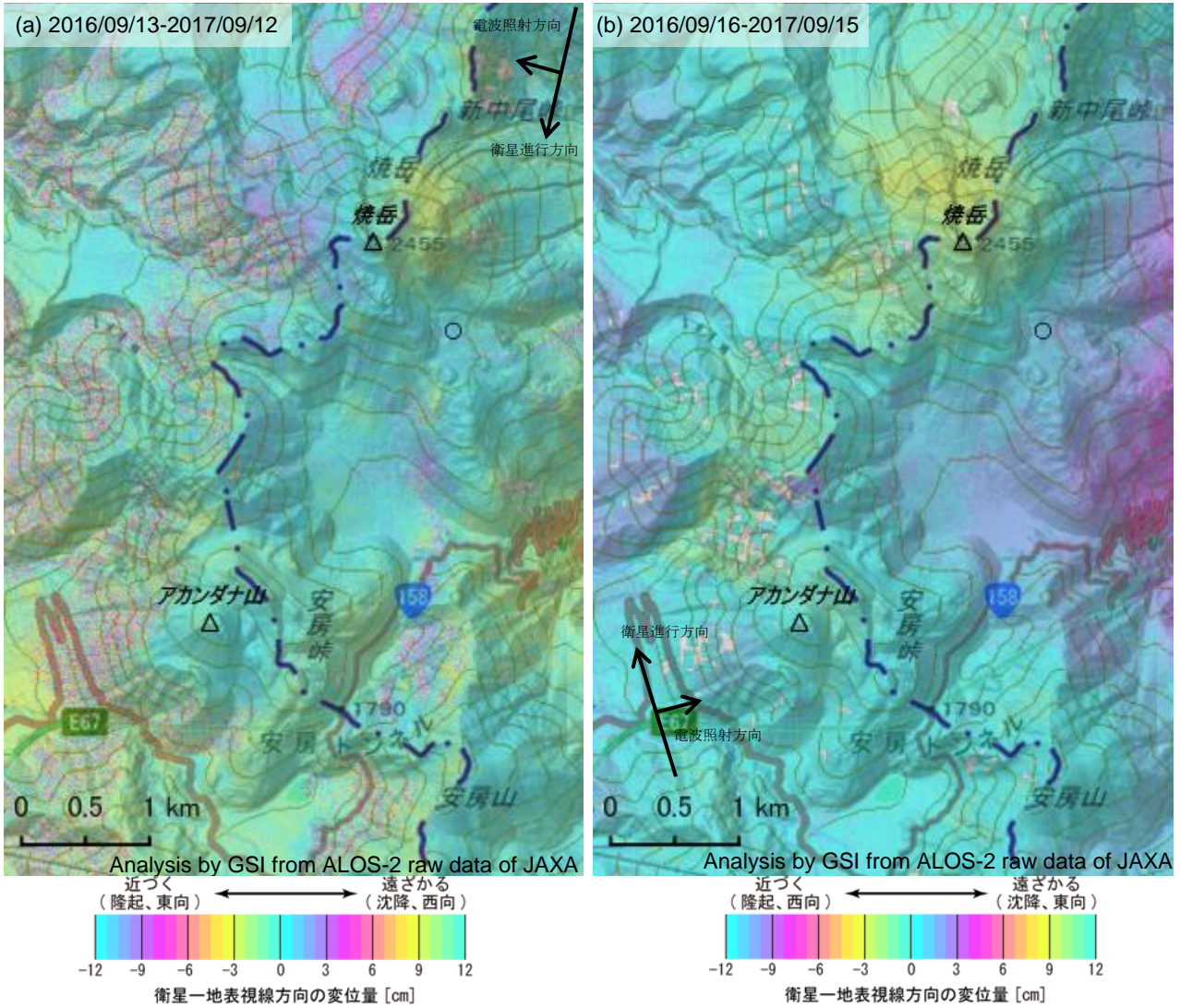
※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 焼岳周辺のGNSS連続観測基線図(上段)、基線変化グラフ(下段)

Fig.1 (upper) Site location map of the GNSS continuous observation network;

(lower) Time series of baseline length;

(left) from January 2013 to December 2017, (right) from December 2016 to December 2017.



	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2016/09/13 2017/09/12 11:50 頃 (364 日間)	2016/09/16 2017/09/15 23:45 頃 (364 日間)
衛星進行方向	南行	北行
電波照射方向	右	右
観測モード ^{*1}	U-U	H-H
入射角 ^{*2}	42.3°	36.7°
偏波	HH	HH
垂直基線長	-39 m	+47 m

*1U: 高分解能(3m)モード
 H: 高分解能(6m)モード
 *2 焼岳における入射角

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

○ 国土地理院以外の GNSS 観測点

第2図 「だいち2号」 PALSAR-2 による焼岳周辺地域の解析結果

Fig.2 (Ascending and/or Descending) SAR Interferogram of ALOS-2 PALSAR-2.